

くらしのすまいるぐ

地球と人に優しい家づくり・くらしづくりの情報広場

2022年2月吉日発行
NO.0092
発行責任者：(有)文化舎東毛
〒376-0101
みどり市大間々町大間々1190-4
☎0277-73-4850

<今月の話>

1. 今月の話題 ～フランスのペットショップで犬猫販売禁止?～
2. 重ね煮 ～冬の根菜味噌汁～
3. 2月の花 ～梅～
4. 建築知識 ～鉄骨住宅には外張り断熱だけが有効～
5. 世界と日本のコロナ感染状況比較
6. パート従業員募集
7. 辛口コラム ～ハイエナを操る寄生虫～



今月の話題

～フランスのペットショップで犬猫販売禁止?～

フランスでは2024年1月からペットショップでの犬猫販売禁止の法律が、昨年11月に可決されました。フランスは動物虐待に対する意識が高く、オスのひよこの殺処分禁止、イルカ・シャチのショーの禁止、サーカスでの野生動物の禁止も決まっています。



ペットショップでの犬猫販売禁止は、扱いの悪さ、売れ残りの処分という悪質なショップの問題と、買う側もショップではお金さえ払えば簡単に買う(飼う)ことが出来てしまい、結果的に手に負えなくなり捨てる行為が後を絶たないからだそうです。なかにはしっかりと購入時と購入後のケアを行うショップもあるのですが、営利追求型のショップと衝動買いする飼い主の組み合わせを減らすことが最も効果的と判断されたのでしょう。

日本でも、コロナ禍の外出自粛にステイホームで、犬猫の市場も拡大していますが、犬で年間約15万円、猫で10万円かかる費用(餌、ワクチン、治療)負担に経済的に耐えられなくなる場合や、飼い主の仕事の都合などでペットの面倒が見れなくなり、今後捨て犬猫が増えることが懸念されています。また飼い始めた時は元気だった飼い主も、自身の加齢とペットの高齢化が重なり面倒が見切れなくなるといったことも起きています。

フランスはペットショップでの犬猫販売禁止という方法で、ペットが不幸にならないような手段を選択しましたが、日本は今後どのような対策をとるのでしょうか。

重ね煮 - 野菜の力を最大限に活かし免疫力をあげる料理法 -

1月20日の大寒から2月3日の節分までが一年で一番寒いと言われている季節。この季節を乗り越えるためにはやはり日本の食卓に欠かせない「お味噌汁」で取り入れるのがおすすめです。この季節ならではの根菜のお味噌汁をご紹介します。

冬の根菜のお味噌汁(4人分)

- ① 図の様に野菜を重ね。分量の水をひたひたまで入れ蓋をして中火にかける。
- ② 良い香りがしたら弱火にしてやわらかくなるまで煮る。
- ③ 残りのお水を加え味を整える。

みそ	60g
油揚げ	半分 細切り
ごぼう	20g ささがき
人参	20g いちょう切り
里芋	80g 乱切り
大根	20g いちょう切り
白菜	80g 短冊切り
こんにゃく	60g 短冊切り

POINT!
重ね方はこの
順番



重ね煮アカデミー主宰

<https://megu-kasaneni.com/>

2月の花 -梅-

厳しい冬に早春を象徴するように咲く梅の花。日本でも『万葉集』にも何度も登場するなど、昔から馴染みのある花です。

梅の花言葉は、「澄んだ心」や「忠義」「潔白」「高潔」などその凛とした美しいイメージから得たものが多くあります。ただ、色によっても花言葉が持つ意味も違って来るそうです。



紅梅

→ 「あでやか」「忠実」
転職・転職する上司に贈るのにおすすめ◎



白梅

→ 「気品」「上品」
お世話になっている人のお礼に贈るのにおすすめ◎

花の種類が少ない冬の季節に、凛と美しい上品な花を咲かせ、春の気配を感じさせてくれる梅。縁起が良く、厄除けの役割も担う花なので、お祝いやお別れのシーンで大切な人に贈ってみてはいかがでしょうか。



詳しくはコチラ👉

建築知識

～鉄骨住宅には外張り断熱だけが有効～

前回「木の温もり」を思わせる木材が、温もりを保つ能力では劣ると書きましたが、鉄など金属は更に激しく温もりを逃がします。12月号で解説した様に、鉄は木材の約700倍、グラスウールと較べると何と2000倍も温もりが逃げます。鉄材は住宅量産には適していて安価、強度も十分で買い易いですが、筆者には素人騙しの様に思えます。住宅に最も大切な「冬、温もりを逃がさず快適に過ごす」機能を得難いからです。それは「温もりの逃げを防ぐべき外壁」の中に猛烈に温もりを逃がす鉄骨がいっぱい隠れているからです。

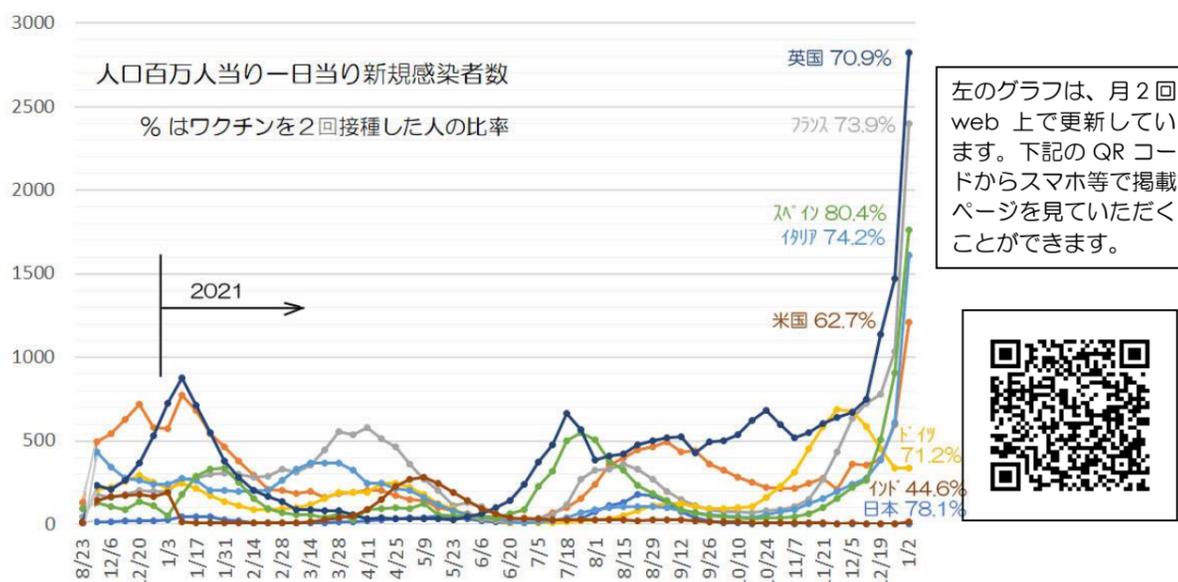
こんな家を赤外線写真に撮ると熱が逃げている様子がくっきり見えます(写真)。これを「温もりが外へ逃げ出するための橋」という意味で「熱橋」と言います。



鉄骨住宅から逃げていく温もり。

鉄骨造の建物の断熱は、鉄骨が低温外気に触れる事が無い様、鉄骨の外から断熱材を張り付ける「外張り断熱」だけが有効です。1999年の次世代断熱基準(今も有効)でも鉄骨住宅には外張り断熱だけが認められています。最近、通勤路わきで大手メーカーが鉄骨住宅を建てていたのを見てみたら木造住宅と同様に断熱材が充填していました。これは良くありません。

世界と日本のコロナ感染状況比較



パート従業員募集

建築・不動産部門

初心者 OK!!



作業内容	土地販売の営業 ポスティング 資料作成 2人1組で行動
勤務時間	AM9時～PM5時の内の 4～5時間
勤務日	週 1～5日 程度(土・日含む) ※応談可
給料	時給 1,100円～
年齢・経験	不問
勤務地	みどり市大間々町大間々1190-4
連絡先	☎ 0277-73-4850

お気軽にお問い合わせください。ご応募お待ちしております!!

辛口コラム

～寄生虫駆除薬イベルメクチン～

WHO がコロナ変異株を、アルファ、ベータ、ガンマ、デルタとギリシャ文字順に命名していたのに突如ニュー、グザイの2文字を飛ばしてオミクロンにした事が物議をかもしました。特にグザイは英文では Xi と書きますが、中国国家主席の習近平 Xi Ching Ping と同じ名前なので、飛ばしたのは中国寄りな WHO の配慮だ、と米国が非難したからです。



鶏脚疥癬ダニ症になった鶏の足

さて怪情報が溢れて米国ではワクチン接種も OECD 諸国中最低レベルです。反ワクチン派が担ぐのが寄生虫駆除薬イベルメクチン。コロナ大流行にこれが有効だという論文がいくつも出ていますが、その後製造元であるメルク社も WHO も効果は確認できないと公表。EU、英米当局も有効な証拠無しとしました。こうした論文の精査をするグループの学者の一人、K. シェドリック博士は、この薬で死を防げたとする論文には捏造の疑いや誤りのないものは一つもなかったと述べています(BBC)。

それでも推進派のネット情報では反ワクチン派などに強かに拡がり入手法も紹介されているとか。ワクチンを疑う人が多いアメリカでは勝手にこれを服用、ネット上では「同薬のペーストを入手したがどう服用したら良いか」答え「クラッカーにピーナッツバターと一緒に塗って食べる」なんてやり取りもあります。畜産農家にとっては入手難になった上に値段が跳ね上がり、獣医たちはこれで鶏脚疥癬ダニ症の流行になれば打つ手がない、と心配。日本にもイベルメクチン推奨派もいますが、世界できちんと認められてからにすべきです。